

情報発信

LINE導入で
スピーディーな情報提供を

A 近隣市町の状態を調査し、課題を整理する



丸山 幸弘 議員

一般質問は、6月8日に行われ、3人の議員が執行部の考えを質しました。質問・答弁とも、質問者の責任でまとめ、登壇順は抽選によります。

丸山 コロナウイルス対策におけるスピーディーな情報の発

備を検討いただきたい。町長 自治体の公式LINE導入の必要性は感じるが、業務ごとに運用しているアプリ等との調整が必要となる。今後、近隣市町の状態を調査し、課題を整理していきたい。

信に課題があったと考えるが、LINE等の導入などインフラの整

Q 動画サイトを活用し
効果的な町のPRを！

A 広川町ブランドを高める情報配信を強化する

ブランド化

丸山 今回のコロナウイルスによる自粛によって、テレワークやYouTube、SNS等を活用したオンラインの新しい取り組みが浸透しているが、これらは自粛による一時的で一過性のものでは無い。動画サイトを活用した動画による町のPRに力を入れるべきではないか。町長 動画作成による広川町PRにつきましては、今回、農山漁村振興交付金事業を活用する「ひろかわブランド推進協議

会一の中でも取組を進めていくと聞いている。協議会へのサポートを含め、協働による取り組みにより広川町ブランドを高める情報配信を強化し、動画配信サービス利用者の確保を進め、広川町のPRを強化する。丸山 広川町出身のダンサー、ISOPPさんの動画が新聞・TV等で話題になっている。このような人材を活用した町のPRは非常に効果的であると思うが、どのように考えておられるか。町長 広川町出身のISOPPさんの「自粛犬」の動画ですが、多くの方々に影響を与えるこういった方を起用した観光PRなどについては地域の観光等の発展に大きくつなげるというふう



よろしゅう頼どきま〜す！

町の支援策

Q 新型コロナウイルス
感染症への対応について

A 第2次の支援策を実施



江藤美代子 議員

江藤 特別定額給付金の申請状況及び申請漏れをなくす対策は。

町長 申請数7200件、未申請580件(6/3現在) 広報での、申請期限の周知とともに、再度申請通知を送付する。江藤 町内で使える商品券の発行を求める。

町長 プレミアム商品券の発行を考えている。

江藤 高校2・3年生、大学生への支援を求める。奨学金の創設を。

町長 全体への支援策はないが、生活困窮に陥った可能性のある、高校生、大学生については支援策を詰めている。奨学金までは、まだ検討していない。

江藤 学校再開後の様子はどうか。子どもたちの不安やストレスをまずは受け止めてほしい。学習内容を精選し家庭学習も過重にならないよう要望する。就



雨の中、元気に登校する子どもたち

学援助の申請数は。申請の目安がはつきりわからない。

教育長 感染防止、「3密」対策、熱中症対策、心のケアにも配慮している。就学援助の申請は、16件。4月からの申請数と合わせると124件(6/5現在) 2人から6人家族の収入の目安を提示。今後基準額を示すことを検討する。

江藤 国保制度の資格証に方に短期保険証の切り替えを。減免・猶予の制度の周知を。

町長 すでにホームページに掲載しており、今後該当の方に文書で直接通知する。減免、支払の猶予については、新型コロナウイルス感染症に特化し、迅速に対応できる条例改正案を、また傷病手当金の支給のための条例案を本議会に提案する。

江藤 豪雨や台風時の避難所対策は。町長 間仕切りのための段ボール、体温計、消毒液などの確保を進めている。